令和８年度　防府市公設青果物地方卸売市場運営審議会
議事録等

■開催日時・場所

令和８年１０月１９日（月）午後２時００分から午後３時１０分まで

防府市公設青果物地方卸売市場　２階会議室

■次第

１　開会

２　議事

（１）副会長の選出について

（２）防府市青果市場事業の経営状況報告について

３　その他

■資料等

・防府市公設青果物地方卸売市場運営審議会　次第

・防府市公設青果物地方卸売市場運営審議会　資料

・潮彩エリア活性化プロジェクト

■出席者名簿（敬称略）　１３名

【 区 分 】	【 所属団体名・役職 】	【 氏 名 】
卸売業者	防府青果㈱　代表取締役	村上　耕一
〃	防府青果㈱　専務取締役	三浦　鉱二
〃	防府青果㈱　常務取締役	國澤　雅彦
買受人	防府青果買受人組合　組合長	岩川　　博
	防府青果買受人組合　理事	川口　春美
関連事業者	生活一番　代表	小川　　操
生産者	山口県農業協同組合防府とくぢ統括本部 経営管理委員	原田　　剛
〃	防府市農業委員会　委員	倉重　俊則
〃	防府市蔬菜出荷組合　組合長	荒瀬　正則
消費者	防府市生活改善実行グループ連絡協議会　会長	阿部　幹惠
〃	防府市生活改善実行グループ連絡協議会　副会長	三輪　美知子
学識経験者	山口県農林総合技術センター農林業担い手支援部 園芸グループリーダー　主査	大久保　孝志
市職員	防府市産業振興部　部長	齊藤　　忍

■議事録

1　開会

委員の交代について（報告）

・買受人組合　中村委員⇒川口委員

・市産業振興部長　杉江委員⇒齊藤委員

会議の公開について

・本日の会議は公開とする。

⇒異議なし。

会議の記録について

・会議で出された意見等の概要は、会議終了後、事務局で整理したものを各委員に確認後に、会議の要旨を市ホームページで公表する。

⇒異議なし。

2　議事　（会長による進行）

（1）副会長の選出について

副会長に齊藤委員が選任された。

（2）青果市場事業の経営状況の報告について

・ 議事内容について事務局より資料を用いて説明。

【A 委員】

・近年の取扱量が極端に落ち込んでいる。買受人の数も開設当初は 200 人を超えていたが、新型コロナの影響で飲食店などの閉店も相次ぎ、買受人は激減している。生産者の方も、ここ数年は不安定な天候等もあり思うように出荷できないし、生産するための経費も上がっている。

・買受人はなるべく安く仕入れたい、生産者側は経費に見合った価格で売りたいと思っている。市場としても高値で売れれば手数料も上がるので儲かるのだが、買受人も経営が厳しく、高値になると買う余力が残っていない。結果、安値になって経費も出ない状態。また、本来ならば、良い商品は高値で売れるべきだが、今は質が良くても高値にならないので、質を落としてでも量で勝負するしかない。それに加え、防府の市場での地場物の単価が県内の平均単価に比べ約 50～60%と安く、経費に対して価格が合わないので市場への出荷者も減っている。

・消費者も地野菜をもっと食べてほしい。需要があれば値段も上がっていく。

・どうすれば買受人も生産者も市場も儲かるか、何かを改善していかないと生産者が減る一方だと思う。

【会　長】

・買受人の立場から言わせてもらうと、事業継承が出来ていないことが買受人の数が激減した要因だと思う。これは防府市場だけではなく全国的な課題になっている。

・防府市は県内の中でも食料の自給率が低いので、先ずは生産力を上げることが改善につながると思うので、行政もしっかり対応してもらいたい。

【会　長】

・経営状況に関して、他に意見はないか。

⇒質問等なし。

（３）その他

【事務局】

「防府市公設青果物地方卸売市場の移転に関する経過」について、

資料（潮彩エリア活性化プロジェクト）を用いて説明。

・順調に工事が進めば、令和１１年度中に新市場をオープンする予定。

【会　長】

・具体的な設計はいつごろできるのか。

【事務局】

・基本設計は１２月末までに。詳細設計は来年7月末の予定となっている。

【B委員】

・設計図が決定する前に、その図面は見せてもらえないのか。以前から要望を伝えていたことが反映されているか確認したい。図面が出来上がった後ならば動かすことができないだろうから。

【事務局】

・完成までは外に出すことができない。図面等を作成するに当たり、様々な関係者から御意見をお聞きしながら進めているが、予算や面積的な制限もあり、また、法的な絡みもあるので、全ての要望を反映することはできないということは了承してもらいたい。

【C委員】

・現青果市場についても、事前に設計の説明が無く、完成後に実際に運営を始めてみると、色々不具合が生じている。例えば、卸売場棟の軒部分にシャッターを後付けしたが、その年の台風で全て破損したということもあったので、今回はそのようなことが無いように進めてもらいたい。

【D委員】

・先ずは、市場で働く方々の意見を聞きながら進めてもらい、市場を利用する人たちにも意見を聞き、要望はできるだけ反映してもらいたい。

【事務局】

・基本設計は、卸業者や関連事業者の代表者の方の意見をお聞きしながら進めているので、御理解をお願いしたい。

【会　長】

・次回の審議会の時には、設計図等は表に出てくることになるのか。

【事務局】

・今年中に基本設計は完成する予定なので、次回の審議会は、年明けて１月か２月頃、なるべく早く開催し説明したいと考えている。

【D 委員】

・設計図が完成する前に、市場関係者には説明があるということで良いか。設計の決定後では動かせないので、それまでにこのような会議で説明があるという認識で良いか。

【事務局】

・今回のように全体で集まるのは日時等の調整が難しいので、個別に説明を行っていきたい。

【E 委員】

・これまでの審議会に参加したが、市場の改善についての審議が行われていないように思う。皆が意見を出し合わないと何も変わらないと思うが、市はどのように考えているのか。

【事務局】

・運営審議会は、予算や決算の報告や、何かする場合にも委員の皆さんからの意見をお聞きする場と考えている。

【E委員】

・しっかり意見を聞かないと何も改善できないと思う。決算報告でもあったように、市から多額の繰り入れがされている。これも改善しなければならないと思う。

【事務局】

・一般会計からの操出金は税金なので、理想は歳出分を使用料等の歳入でまかない、繰入金が発生

しないことであるが、現実は取扱高や関連店舗数も減少しており、使用料等の歳入も減っているため、結果、不足分を操出金で補っている。

【E委員】

・決算書を見ると支出が多いように見えるが、もっと削減はできないのか。

【事務局】

・予算を計上する際に、維持管理に必要なものをしっかり考えて予算書を作成している。市としても支出は必要最小限に抑えているが、市場を安全に運営するため、業者に委託しないとできないものもある。今後においても、物価の高騰や人件費等も増えているため、必要経費は年々増加していくことになると思う。

・今後も健全な運営に努めていきたいので、何か良い案などがあればお聞かせ願いたい。

・審議会は市場が健全に運営されているかをチェックしてもらう場でもあるので、予算や決算の報告は必要であり、この度の移転のような重要なこともしっかり審議していただく場と考えている。

3　その他（自由意見）

【D 委員】

・野菜の高騰が続いており、消費者は大変困っている。運送費がかかる都会の値段が高いのは理解できるが、なぜ地方の地野菜も高騰しているのだろうか。

【C委員】

・地方の野菜が高騰している理由は、夏の長雨等の災害で有名な野菜の産地にも多大な被害が出ており、生産量も大幅に減少している。出荷が少ないため高値で取引される。その影響で、地方の野菜も高値で売れるので、多少運賃がかかっても相場が高いところへ流れていくので、地元でも高値になってしまう。

【F委員】

・昔は防府も白菜や玉葱等の産地であったが、今は野菜を作る農家が減ったため、今は野菜の産地ではなくなったので他所から取り寄せるしかない。そういう経緯で地方でも野菜は高騰している。これはお米においても同じことが言える。

【会　長】

・先ほどもお伝えしたが、食料の自給率が低下している。農家の担い手不足もそうだが、食文化の変化も要因だと思う。また、以前、田畑だった場所も次々と宅地に代わり、近年の気候の変化等でこれまで生産できたものができなくなっている。これは防府だけではなく全国的な問題だと思う。

【A委員】

・関東は夏に雨が続き、西日本は逆に雨が降らず水不足で思うように野菜の生産ができない。近年は全く予測が出来ないことが続いており、農家は本当に大変な状況にある。消費者とすれば、お米や野菜が高騰しているという不満があると思うが、どうか生産者の気持ちも理解し買っていただきたいと思う。

【会　長】

・生産者側の気持ちも理解できた。生産者には、今後も引き続き良い野菜を作っていただきたいとお願したい。

【C 委員】

・第４土曜日の朝市もかなり定着しており、７時からオープンなのに６時過ぎからお客が殺到し、８時前にはお客が居ない状態である。来てもらえれば分かると思うが、破格で提供しているので、儲かってはいない。しかしながら、皆さんに喜んでもらえるのでこれからも続けていきたい。今月の開催は今週末なのでぜひお越しください。

４　閉会

【事務局】

・本日の御意見等を参考に、今後の青果市場の運営を進めていくので、引き続き御協力をお願いしたい。